

事業計画書

団体名：特定非営利活動法人にこっと

<p>事業名</p>	<p>子育て家庭を応援！ 第3回いぬやまワーク応援フェスタ meet×meet ～ママも子どもも、地域のシゴト&amp;働き方と出会おう～</p>
<p>事業の目的</p>	<p>少子高齢化・人口減に女性の労働力をと言われる中、市内保育園の整備や多子多胎支援は強化されているが、子育て期の女性が、再び働きたいと実際に行動に移していく際のサポート等、女性が自ら相談することができる行政の事業、市内団体の事業がとても少ないと感じている。</p> <p>平成29年に実施された犬山市男女共同参画に関する意識調査結果や、それをもとにした犬山市男女共同参画推進指針では、「家庭、地域、経済、社会を男女がともに両立し、協力しながら支え合う社会を形成していくためには、高度経済成長時代を支えてきた男性中心の社会構造を見直し、現実的な仕組みづくりが必要」であったり、「社会全体として女性の働きやすさについて、働きやすいとはいえない、または働きにくいと考える女性は過半数をしめ、その原因として労働条件・環境が整っていない」と7割以上の回答があったと報告がある。</p> <p>また、第2期犬山市子ども・子育て支援事業計画の中では、「基本目標4、子育てと仕事が両立できる環境整備 家族がともに過ごす時間を確保していくことは、子どもの幸せのためにも大切です。男女ともに仕事と家庭、育児に参画できるよう職場環境の改善を図るとともに、家庭内での意識改革も進め、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。」とあり、その中でも「ワーク・ライフ・バランスの推進 ①企業への育児期間における就業環境整備の働きかけ」とあるが、実際には、どのように環境整備が推進され、事業として実施されているのかは、子育て中の女性の多い当団体の会員の中でも、わかりにくいという声が出ている。</p> <p>しかし現実的には、働き方に関するサポートを必要とする対象に対して、行政の支援が行政間・民間企業とも連携し、ワンストップとなるまでには多くの時間が必要だとも感じている。</p> <p>そのため、市民側で少しでも何を始めていけると良いかと考</p>

	<p>え、地域で市民と事業者と一緒に働き方を考える機会として、令和4年度より、子育て中の女性が地域の事業者と働き方を気軽に話せる・地域の仕事を知るきっかけになる「いぬやまワーク応援フェスタ meet×meet」を開催してきた。</p> <p>令和6年度は、これまで2回開催した結果を踏まえ、「母親だけを対象とした事業者との気軽な働き方相談会」から、「親子で参加し、子どもの職業体験だけでなく、母親も事業者から事業内容や、働き方についてゆっくり話ができる機会づくり」へアップデートして、関心を持つ母親や家族を増やしていく。そして「働くこと」をテーマに母親や事業者が直接コミュニケーションが取れる場を設けることで、様々な情報を知ることから、犬山での選択肢を増やしていける場を目指すとともに、事業者側でも今後、就業環境整備を検討するための次への一步に繋がる機会とする。</p>
事業内容	<p>&lt;対象者&gt;</p> <p>犬山で社会参画・自己実現への一步を踏み出したい女性。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出産を機に仕事を辞めて、何かしら働くタイミングをつかめずにいる</li> <li>・ 働くことを通じた社会との接点が減っていて、就労を再開する自信が持てない</li> <li>・ 自分の資格や特技、過去の就労経験を、どのように活かして地元で働けるか知りたい</li> <li>・ 子どもの手が離せるまでは、短時間・週数日などの働き方がしたい</li> <li>・ 将来的に親の介護などでも、在宅・短時間など融通の利く働き方を希望する可能性があるが、今のうちにどのようなスキルを身に付けておけると良いか考えたい</li> </ul> <p>と考える女性を対象に実施する。</p> <p>また、子育て中の女性の雇用について検討したい事業者も対象とする。</p> <p>&lt;実施場所&gt;</p> <p>市民健康館（さら・さくら） 犬山市大字前原字橋爪山 15-2</p>

<実施方法>

第3回いぬやまワーク応援フェスタ meet×meet

～ママも子どもも、地域のシゴト&働き方と出会おう～

●開催概要

参加：500人

会場：市民健康館さら・さくら

時期：令和6年12月ごろ

費用：職業体験・お仕事調査隊 参加 子ども1名/100円

(資料、参加記念品等実費相当)

運営：スタッフ17人(見守り託児スタッフ含む)

※感染症の状況に応じ定員制など対応を検討する

※母親が通勤しやすい範囲の近隣市町企業にも呼びかけを行う

(1)「職業体験&ママも話を聞いてみよう」ブース

出展事業者(予定)：午前/7社、午後/7社 計14社

※事業者出展料5,000円

(2) 犬山お仕事調査隊コーナー

多目的ホールを起点に、各職業体験ブースへ調査して巡る

職業体験参加者も含め、当日参加者300人を想定

(1)「子ども向け職業体験・ママも仕事の話聞いてみよう」企画

家族で気軽に来場しやすい雰囲気を作るとともに、家族(夫婦や子ども)と仕事、職業について、知る、会話をする機会を促進するため、子ども向けの地元事業者による職業体験ブースを設置する。

職業体験の各部屋・ブースでは、子どもが体験中に、対象の女性が、仕事内容や働き方について直接コミュニケーションを取って知る・聞く場を設け、地元事業者も女性の活躍推進を考えていく機会として、双方の働き方のマッチングを考える機会とする。

貸し会議室等：4ブース×2回(午前・午後)

多目的ホール：3ブース×2回(午前・午後) 計14事業者

(2)「犬山お仕事調査隊コーナー」企画

今回の職業体験は、当日参加枠を各体験で設けて、当日の来館を呼びかけるとともに、職業体験だけで終わらず他にもどんな事業者が出展しているのかを調査する企画を設けて、スタンプラリー形式で、親子が各職業体験ブースを巡ることで、地元の仕事を知る機

会とする。

案としては、会場内の宝探しゲームのような催しを行い、宝箱には、出展事業者にまつわるクイズが記載されており、それを職業体験ブースにある回答コーナーへ調べに行くなどして、スタンプラリーのように回答していくことで、参加の記念品がもらえるなど、一部の職業体験で終わらずに、様々なシゴトを知る機会としての導線を検討する。参加数も、令和5年度より上回る人数を目標設定して工夫していく。

●令和5年度からの改善点・事業効果及び目標への工夫

①昨年度の事業にて母親は自分事よりも、子どもの成長のためには積極的に行動する人が多く、母親自身の自己成長は後回しになりがちという話があるということから、子どもが社会や地域との接点を持つことができる事業として、「家族でできる値付け体験フリーマーケット」や「職業体験ブース」を設け、子どもが参加しやすい事業展開を行った。結果として、一昨年度の集客数300名から、昨年度は390名と多くの方に来場頂いた。

しかし、マッチング相談ブースへの導線に対して工夫を凝らすことができず、出展事業者には十分にマッチングの機会を提供ができなかったため、令和6年度の事業としては、本来の目的達成のため事業者と子育て中の女性が可能な限り多くコミュニケーションを取れる場の提供を工夫する。

②協働先への情報収集・連携を相談

子育て中の女性が関心を持ちやすいテーマ（子育て・健康・介護等）や、女性の働き方に関して、創業支援や就労先などの情報収集を産業課や商工会議所、ハローワークなどに行い、会場での情報提供等を相談依頼する。

③求人者（事業所）、求職者のニーズの把握

令和7年度以降に子育て世代の女性と犬山市近郊の事業所が今以上にマッチングできるよう、当該事業後のアンケート収集項目に下記の工夫を行います。

令和4年度、令和5年度では、子育て世代の働き方変革に関する意識調査が主であった。また、事業所側には、当該事業の参加した効果、当該事業に対しての要望等を収集していた。令和6年度は、上記に加えて、子育て世代の女性が求職する上での求職条件、ニーズの収集また、事業所側の期待、求めるスキル、譲歩できる内容の調査を行います。

事業期間	事業開始予定日	令和6年4月25日 ✓
	事業完了予定日	令和7年2月28日 ✓
事業計画	時期	内容
	4~5月	運営会議① 事業会場手配等、助言・協力先への訪問 //
	6月	運営会議② 出展事業者の募集用紙作成・事業者への説明 ✓
	7月	運営会議③ 会場確定、広報犬山10/1号他、告知先へ申請、SNS
	8月	運用 //
		運営会議④ 出店事業者の決定、会場との打ち合わせ、SNS運用
	9月	犬山市・犬山市教育委員会の後援名義使用許可申請 運営会議⑤ //
		イベントリーフレット作成・印刷、会場との打ち合わせ //
	10月	SNS運用 運営会議⑥
	11月	広報犬山10/1号に告知掲載、市内へチラシ配布 当日会場での配布物等制作、SNS運用 ✓
	12月	第3回 meet×meet 開催 会場運営、参加事業者対応 //
	1月	運営会議⑦（振り返り） アンケート集計（対象の女性、子ども、事業者） //
	事業評価確認、SNS運用、開催レポートの制作 //	
2月	出展事業者へ報告 事業報告書作成 //	

<p>事業の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児休業中の方、育児休業明けで復帰を考えている方、復帰をしたが思うように働いていない方などを対象に、直接的な相談の場の提供やサポート・間接的な支援を行うことができる //</li> <li>・ 求人募集する事業者に対しても求人情報のミスマッチを減らし、事業の活発化や働きやすい環境へ変化していくことができる //</li> <li>・ 家庭でさまざまな働き方、母親の働き方の話題が出るようになる</li> <li>・ 父親の価値観が変化する //</li> <li>・ 子どもが社会や地域の大人と関わる機会ができ、男女問わず将来をイメージする機会になる //</li> <li>・ 女性活躍推進に関心を寄せ、環境（地域や企業、人）や意識の変化を促す //</li> <li>・ 地元での働き方や就職を考える女性、子どもが増える</li> </ul> <p>母親の自己実現へのイメージが持てて、実際に行動を起こすきっかけとなる //</p>
<p>成果目標</p>	<p>本事業参加者：500人 //</p> <p>開催後の出展事業者への求職相談：5件、採用：3件 //</p> <p>当団体の新規会員の入会：5人 //</p>
<p>今後の展望</p>	<p>今後3年を目標に協賛事業者を増やしていくことで、運営面での自立自走を目指す。//</p> <p>子育てが始まった時期の女性だけでなく、中～高校生の子を持つ親も対象となるように、中高生向けの職業体験・地元の仕事を知る機会を作っていくことで、幅広い年代の女性を対象としていく。 //</p> <p>就業環境整備について、引き続き事業者側でも検討していけるような、情報収集や情報提供などを行っていく。 //</p> <p>就労・男女共同参画・子育てを支援する課とも情報共有を行い、事業者とのつなぎ役を目指していく。 //</p>

※記入欄が不足する場合は、枠を広げて記載してください。

## 別紙 2

## 活動費用の内訳書 (予算)

(収 入)

団体名

科目	予算額 (円)	内訳
助成金	105,000	市民活動助成金
協賛金	105,000	企業協賛金 10,000 円×6 社 60,000 企業協賛金 15,000 円×3 社 45,000
参加料	70,000	職業体験&相談 14 枠の企業出展料 (@5,000 円×14 枠)
参加費	30,000	職業体験・調査隊企画 300 人×100 円
	310,000	

(支 出)

科目	予算額 (円)	内訳
報償費	55,000	イベント告知チラシデザイン 20,000 円 当日リーフレットデザイン 30,000 円 開催レポートデザイン 5,000 円
旅費	0	
消耗品費	76,400	事務用品 25,400 円 参加費用品 (300 人×100 円) 30,000 円 材料費 10,000 円 会場装飾費 (入口・相談等) 11,000 円
印刷製本費	42,000	出展募集チラシ 2,000 円 イベント告知チラシ 7000 部 13,000 円 イベント告知ポスター10 部 10,000 円 当日リーフレット 500 部 5,000 円 会場看板・掲示物・出展者看板 10,000 円 開催レポート 100 部 2,000 円
通信運搬費	2,400	郵送費 2,400 円
手数料及び 保険料	7,200	振込手数料、行事保険料 5,000 円 フォームシステム使用料 2,200 円 *職業体験等の来場者向け事前予約システ

		△使用料 ✓
人件費	✓127,000	年間運営謝礼 @10,000円×4人 ✓ SNS運用謝礼 @5,000円×1人 ✓ 会場装飾謝礼 @10,000円×1人 ✓ 当日運営謝礼 @4,000円×18人 72,000円 ✓ (終日・見守り託児者含む) ✓
使用料及び 賃借料	✓ 0	会場使用料(さら・さくら) 1階フロア 前日設営、当日 (減免申請予定) ✓
計	✓ 310,000	